

平成23年度 第1回学校関係者評価委員会資料

1. 学校評価のねらい

本校児童の健やかな成長を目指し、児童の学習状況や教育課程の実施状況等に関する自己点検・自己評価を行い、その成果や課題を明らかにしながら、本校学校経営や教育活動の改善を進める。

同時に、その結果を保護者・地域に説明することで説明責任を果たし、開かれた学校づくりを進める。

2. 集計結果及び考察

(1) 昨年度より、児童、保護者、職員に対し10項目の同じ観点でアンケート調査をしている。質問文はそれぞれにあった形にしてアンケートを採ることで3者に共通した意識や、違いを考察する。

◇調査時期 平成23年7月

◇調査項目

・学校生活全般について学習・生活状況、教師や友達、保護者や地域との関わりなど、全10項目。

- ① 教育目標の具現化について。
- ② 教育施設の使いやすさ、維持・改善について。
- ③ 安全な生活について。
- ④ 諸問題への対処について。
- ⑤ 学習理解について。
- ⑥ 評価（学習面、生活面）について。
- ⑦ 学校生活への意欲について。
- ⑧ 保護者、地域への情報発信について。
- ⑨ 児童の思い、保護者・地域との連携、について。
- ⑩ 地域の教育力について。

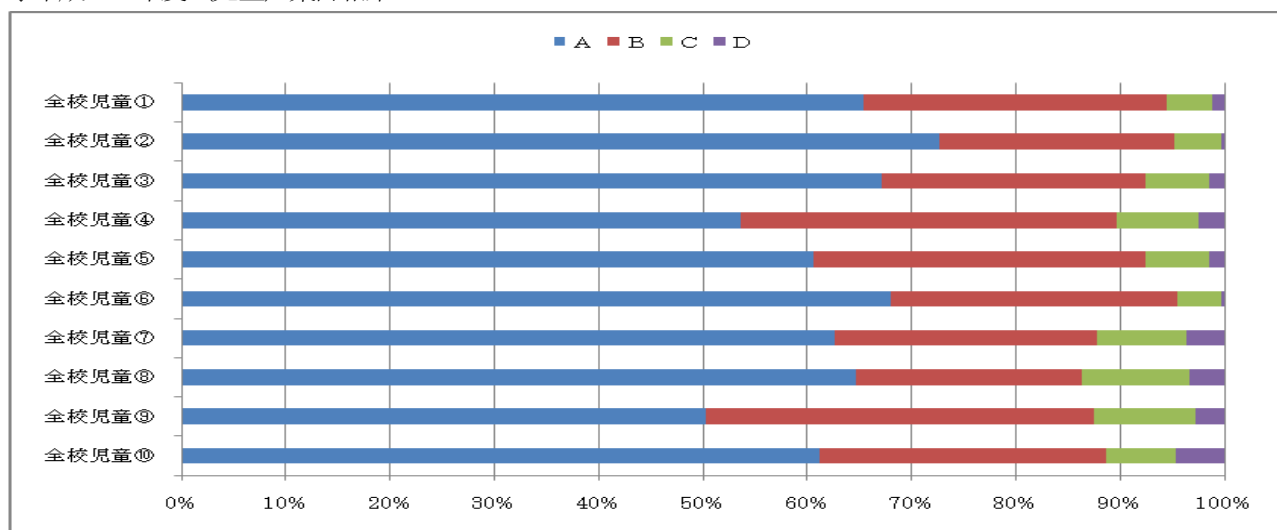
◇調査方法

・学校作成のアンケート用紙による選択回答

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：ぜんぜんそう思わない

(2) 考察Ⅰ・全校児童

◇平成23年度（児童）集計結果



・「A：そう思う。」「B：だいたいそう思う。」をあわせるとどの項目も9割前後になり、児童にとって学校・家庭・地域との関係は概ね良好であると考えられる。しかし「A：そう思う。」の割合になると設問によって多少のばらつきが出てくる。

「A：そう思う」が7割以上	②
「A：そう思う」が6割以上7割未満	① ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑩
「A：そう思う」が5割以上6割未満	④ ⑨

「A：そう思う。」の割合が高かった設問と低かった設問について考察する。

設問②「教育施設について。(学校の教室やアリーナ、ラウンジは使いやすい)」

職員アンケートからみるとむしろ評価の低いこの設問が児童、保護者にとっては評価が高いというのは興味深い。本校の施設の特徴として「開校13年目で、設備全般として比較的新しい」「オープンスペース」「図書ラウンジ」「一人1台使えるコンピューター」といったところが挙げられる。いくつかの小学校を経験している職員からすると、他校と比較してしまうので「設備が新しい＝使い易い」とはならないのであろう。しかし、本校での生活しか経験のない児童からすると、新しく使い慣れている本校の設備について評価が高くなっているのかもしれない。今後、設備そのものは年々経過していくが、きれいさを保つために普段からの清掃活動にしっかり取り組むこと。職員からみても使い易い設備にするために、できることに取り組んでいくこと。が必要であらう。

設問④「諸問題への対処について (困ったときに先生によく話を聞いてもらえる)」

⑨「児童の思い、保護者・地域との連携について (先生は自分たちの願いを聞いて、必要なことを実現しようとしてくれる。)」

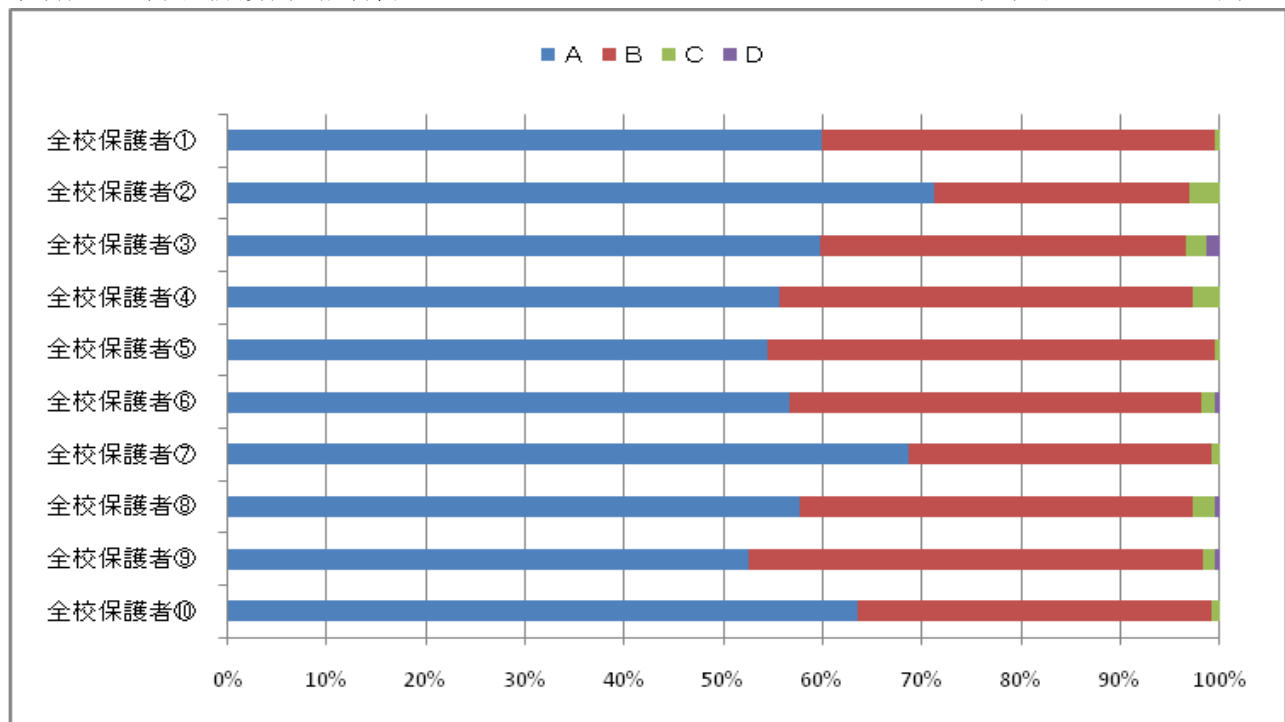
学年が進み、より多感になり日常生活の中での不満や不安が出たり、要望も増えてきたりすることもあるであらう。何か問題点が出て、まだ自分たちで解決することまではできないこともある。その際にすぐに教師に解決を求めてしまう面があること。また、自分たちの願いを「体育の時間を増やしてほしい」といった願いとしてしまうことなども評価が低い理由に挙げられる。学年によっても回答傾向にばらつきがある。学年児童の特性にあわせて指導にあたる必要があらう。

児童にとって「困ったことがあったら、先生に解決してもらえる。」「必要なときには自分たちの願いを実現してもらえる。」ということは教師と児童の信頼関係を築く上でも大きな要素である。今後も、その点を意識して取り組んでいきたい。

考察Ⅱ・保護者

◇平成23年度 (保護者) 結果集計

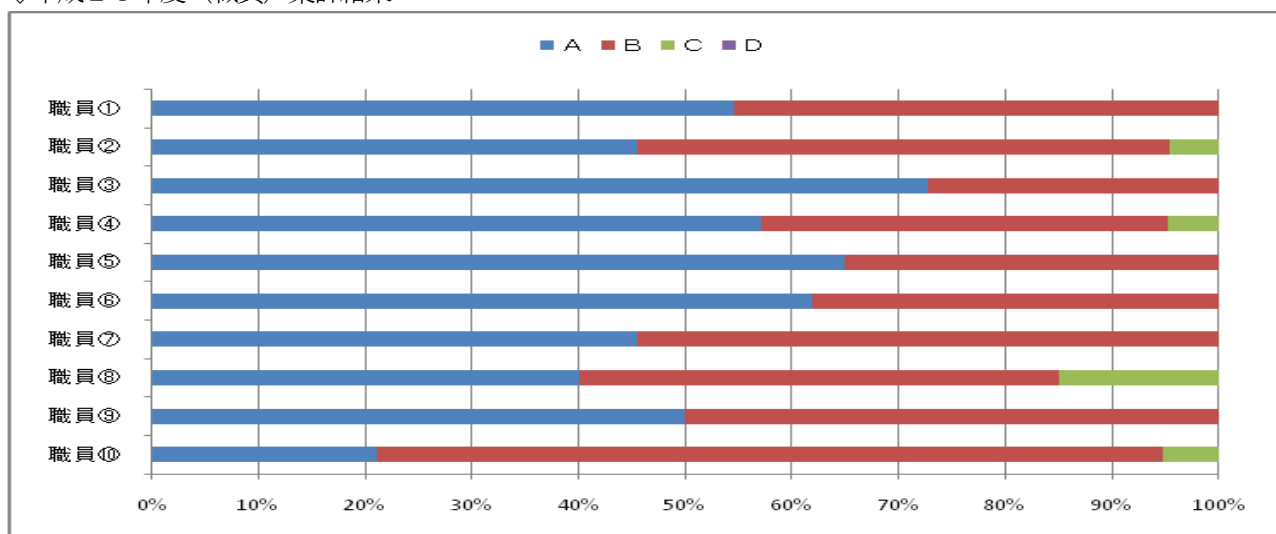
(回答率 88.9%)



10項目すべてについて「A：満足」「B：まあまあ満足」を合わせると95%を超える。全体的に学校に対する信頼度は高いと思われる。特に⑦「**学校生活への意欲について (子どもが楽しく通える)**」は各担任にとっては大変に気になる設問である。この設問の評価が高かったことは担任としては安心できるであらう。これからも一人一人の児童が毎日の学校生活へ意欲をもって取り組んでいけるようにしていきたい。と同時に「C：あまりそう思わない」との回答があることを念頭に入れ、日々の実践に取り組んでいきたい。

考察Ⅲ・職員

◇平成23年度（職員）集計結果



「A：そう思う」「B：だいたいそう思う」を合わせると⑧以外は90%を超える。特に⑤⑥⑦の学校生活についての3項目はいずれもAとBを合わせると100%になる。教職員として当然の取り組みではあるが、今後もこの部分については特に意識して取り組んでいきたい。⑤「**学力の向上を意識した教育活動を行った。**」を「A：そう思う」とする割合が昨年度と比べて3倍になっている。新学習指導要領になり、学力の向上をより意識して日々の教育活動に取り組む姿勢が高まっている現れととらえたい。

職員アンケートは自己評価であるため、他の2者と比較するとどうしても厳しい自己評価になりがちである。それでもできるだけ客観的に評価して、自己評価をするように声を掛けてからアンケート回答したこともあり、昨年度よりは全体的に評価は上がっている。安全面や生徒指導の面での諸問題について、構造上の特性を生かして朝の学年活動の中で指導をするなどしていることを職員が正しく自己評価できてきているようである。

そのような中でも設問⑩「**開かれた学校づくりについて（地域の施設・地域教材の活用を十分行った。行うつもりである。）**」の評価が昨年、今年と低くなっている。本年度より本校の研究として地域教材を生かして「総合的な学習の時間」に取り組んでいる。本年度は取り組みの1年目ということで各学年では地域の特色を生かして教材づくりに取り組んでいるところである。まだ始まったばかりということで「A：そう思う」とまでは評価できないようであるが、市内めぐりや畑での活動、生活科での地域単元の開発を意識している職員も多い。今後の研究に取り組むなかでこの項目の数値が上がっていくようにしたい。

考察Ⅳ・3者の比較とまとめ

児童、保護者、職員の3者のグラフをみると数値のばらつきはあるものの全体のグラフの傾向としては近くなっている。学校における教育活動を行うのは職員である。その職員が意識して取り組めた内容については児童、保護者の評価も高くなっていると言える。このことを踏まえて今後も児童、保護者、地域からも信頼される学校づくりに取り組んでいきたい。

学校関係者評価委員会 会議録 (抜粋)

～平成23年度7月期 児童・保護者・教職員アンケート結果より～

校長挨拶 みなさんのご意見をうかがいながら、子ども達のために、より良い学校になるようにしていきたい。

1. 集計結果及び考察について

- 教務 ・昨年度から、保護者・職員・児童への質問事項をリンクし、同じ項目を3つの視点からみられるようにした。
 ・考察は資料の通り説明

2. 質疑応答

(1)児童評価について

- 評議員 学年によって回答結果の傾向が違うが、そのようなことは毎年あるのか。
 教務 今年度は昨年度との比較ができる。そうすると各学年とも昨年度の同じ児童による回答結果とあまり変化はない。質問に対しての感じ方がある程度固定化されている。
 校長 学年児童によって各生活場面での傾向が違う。そういったことが回答にも表れているのではないかと。

(2)保護者評価について

- 保護者 保護者からすると回答のA、Bの境目が難しい。迷ったときにはBをつけてしまう。
 教務 児童もそうだがABCDの判断基準はそれぞれ違うし、難しい。「ふつう」という回答を設けることも考えたがそうすると「ふつう」が多くなってしまうので敢えてこの4観点でお答えいただいている。
 保護者 保護者の高評価は子どもたちにも伝わると思う。
 保護者 C、Dの評価はほとんどない。授業参観していても自分も受けたくなるような楽しい授業が多く、それが保護者にも伝わっているのではないかと。

(3)職員評価

- 評議員 昨年の職員評価が低めだったので、今年の結果を見て安心した。遠慮しないで正しく自己評価してほしい。
 評議員 各自が具体的な目標を一つでも二つでも設定し、その目標に対しての成果をあげられたらA評価としていいのではないかと。
 評議員 前年と比較できているのでわかりやすい。学校が地域の力をどのように引き出していくのかを考えていってほしい。
 校長 本年度より地域の力を生かして「総合的な学習の時間」の活動を進めていく研究に取り組んでいる。現在各学年ともいかにして地域の力を学習活動に取り入れていくかを試行錯誤中である。今後この部分での評価を上げていきたい。

(4)総括

- 評議員 アンケート結果を考察するときBという回答は好意的な評価と考えていいのではないかと。
 評議員 今後は同じ学年児童の中での変化についても考察していくといいのではないかと。
 教務 職員が一生懸命に取り組んだと自己評価した設問は児童も保護者も評価が高い。やはり力を入れて取り組めばその点が伝わっていくことがわかる。今後もその点を踏まえてしっかりと取り組んでいきたい。
 保護者 子どもが毎日楽しく学校に通えることが大切。子どものことを第一に考えて学校、保護者、地域が取り組んでいけたらと思う。
 校長 様々な立場からご意見をいただいた。意見をうかがうことで職員も学校も成長するのでこれからもお気づきの点があれば遠慮なく言っていただきたい。